



～5杯目～
Quelle histoire est vraie?
Welke verhaal is echt?
 ホントはどっち？

ベルギービールで ホロ酔い気分♪

グランプラスのビール祭りで「Kwak」を飲んでいてのことです。同じテーブルに居合わせた学生とおぼしきベルギー人青年が、「失礼ですが、クワックは木のスタンドから外して飲むのが正式なんですよ」と忠告してくれました。なるほど…、とその場は従ったものの、その後見たTV番組でも、カフェで尋ねてみても「スタンドを持って飲む」とのこと。さーて皆さん、“どっちがホント”だと思いますか？



「PAUWEL KWAK」は、ブリュッセルから北北西20km程に位置するBugenhoutにあるボステール (Bosteels) 醸造所で、約80年前から造られています。もともとは18世紀末、ナポレオンの時代に

Dendermondeで宿屋を商う傍ら醸造所も営んでいたパウエル・クワックという人物が造っていました。この時代には、宿屋は乗り合い馬車の休憩所にも使われ、お客は気軽にカフェに寄れるものの、御者は当時の法律により(セキュリティ上の理由から)馬から離れることを禁じられていました。そこで彼は、一杯やるのが出来ない御者のために、特別のグラスを御者台横の鉤(かぎ)に引っかける方法を考え出したのです。それがこの木の土台をもつ、フラスコのような独特の形のグラスでした。当時はかなり評判になったようです。そしてそのビールを、パウエル氏のレシピ通り復活させたのが創業200年以上、7世代にわたるボステール醸造所でした。

少々アルコール度数高め(8.1%)のこのビール、ほんのり甘みを感じさせる香りと味はスガー&キャラメルバナナと言われれば納得です。最初の口当たりは爽やかですが、飲み進めていくうちにアルコール度数と甘みで重い口当たりになっていきます。



そして何といってもKwakを有名にしているのは、この独自のグラスです。こだわりのオリジナルグラスにはこだわりの注ぎかたがあります。まずグラスは完全に乾かし、5~6℃であること。軽くグラスを傾けて注ぎ始めると、最初

は泡だらけに！しかし慌てず注ぎ続けると、ゆっくりと液体と泡の境目が上昇していきます。グラスのふちから2cmほどの位置まで注ぎきり、そのまま15秒ほど泡が落ち着くのを待ちます。落ち着いた状態で、泡の境目がグラスのふちまで7cmほどの位置にあれば、完璧です。この泡の過程を称して「黄金のドレスが白いドレスになる」というとか。オーナー曰く「勿論、木製スタンドを持って飲んでもいいのですが、古き良き時代を懐かしむなら、是非スタンドを持たず、グラスだけを持って当時の四輪馬車の風情に思いを馳せながら飲んでみてください」…という訳で、たまにはグラスだけ持って飲むのもオツなようです。ちなみに「クワック」とは、このグラスで飲む時(最後の方)のボゴツという音にもかけているそうです。

おまけ情報

銘柄は「Kwak」ではありませんが、「巨大ロンググラス」で飲ませてくれるお店がゲント(金曜広場)にあります。グラス盗難防止のために、履いている靴を片方だけ質に取られるのもまた一興。ただし、お祭りなどで超多忙の際は注文できない時もありますのであしからず。注文は「MAX(お店のオリジナルビール)」でOK。約1L入りの豪快なビールをお試しあれ。

De Dule Griet
 Vrijdagmarkt 50, 9000 Gent

この記事は2000年にプチボワに連載されたものを加筆修正してお届けしています。

6月1日より販売開始 **ANA ミュンヘン線 1周年スペシャル**

東京・大阪・名古屋までは同一運賃。
 その他のANA 運航都市は往復100ユーロの追加料金で可能です。夏休みの一時帰国もANAで!

ご利用期間：2011年6月1日～7月31日
 (ブリュッセルで出発日)

東京・大阪・名古屋行き(ブリュッセル発ミュンヘン経由)

€1,108[~] €530 + 空港税*

*5月19日に計算した空港税の合計金額です。右記には各空港使用税、保険料、燃油サーチャージが含まれます。発着時の換算レートにより空港税の合計が変わる場合がございます。

ECONOMY CLASS

経由便もエコノミークラスの受託手荷物は往復それぞれ2個(23kg x 2 = 46kg)! お土産が多くなっても安心です。

23kg + 23kg

(1つ当りのサイズ)
 縦 x 横 x 高さの合計 203cm 以内